

郡上農林事務所の普及活動状況 令和8年9月30日現在

今月の重点活動

■夏だいこん バイオスティミュラントを活用した効果確認試験を実施

ひるがの高原で栽培される夏だいこんでは、近年の夏期における高温や乾燥の影響による生育不良が課題となっている。

このため、農業普及課では、ひるがの高原だいこん生産出荷組合の協力のもと、JA全農岐阜を主体として肥料メーカーと連携し、7月上旬からバイオスティミュラントを活用した高温・乾燥対策試験を実施した。バイオスティミュラントは、農作物や土壌に施用することで、農作物や土壌が本来持つ機能を補助する資材であり、高温や乾燥などの環境ストレスに対する耐性向上効果が期待されている。

農業普及課では、本試験における収穫調査及び生育データの収集・分析、結果の取りまとめを行うとともに、関係機関と連携した情報提供を通じて、高温・乾燥条件下における安定生産技術の確立を支援していく。



【生育調査の様子】

新たな担い手の確保

■就農支援 農業大学校派遣学習出発式を開催

9月16日、岐阜県農業大学校2年生を対象とした先進農家派遣学習の出発式が、研修先である和良町の川尻牧場において開催された。当日は、学生をはじめ、両親・祖父母、川尻牧場、指導農業士・青年農業士など関係者が多く出席した。出発式では、学生が自己紹介と研修に向けた抱負を述べたほか、受入農家、指導農業士の郡上地区代表者、農業普及課長等から激励の言葉が送られた。

今回の研修は、9月16日から10月20日の約1ヶ月間実施され、学生は先進的な農家から繁殖牛の飼養管理技術等の実践を学ぶ予定である。また、11月5～6日には研修報告会が開催される予定である。

農業普及課では、今後も農業大学校と連携しながら、将来の担い手である学生を支援し、新規就農者の確保・育成に取り組んでいく。



【出発式の様子】